

地質ニュース

昭和 43 年 12 月 第 172 号 1968

解 説	日本列島の生い立ちをさぐる ⑤-1……………河合正虎・1
	第7回エコフェ地質専門家会議および……………佐藤光之助・13 鉱物資源開発小委員会 テヘランで開催する……………関根良弘
トピックス	岐阜県下 8 月 16 日～17 日集中豪雨……………黒田和男・18
	水銀の話 ④……………岸本文男・22
	ポーフィリーカップー鉱床 ⑧地化学探査……………東野徳夫・28
	昭和43年の海外関係業務をふりかえって……………海外地質調査協力室・39
資 料	現世水盆中のマンガン濃集体の型とその鉱石化過程 ②……………盛谷智之訳・42
	あるジオジストの歩いた道 ②……………岡田博有訳・48
海外事情	インドネシア地質鉱産事情の若干……………沢田秀穂・54
	地学と切手……………堀内恵彦・48
	地質ニュース総目次 (No. 161～172)……………65

編 集 地 質 調 査 所

表紙の写真

花崗岩の露頭

(岐阜県 恵那峡)

恵那峡は、木曾川がこの付近の花崗岩の台地を深く侵食してつくった溪谷である。現在は下流にダムがつくられ人造湖に変わっているが、湖岸にはいたるところ断崖をなす美しい花崗岩の露頭がみられる。写真は奥恵那峡と呼ばれる上流の美恵橋付近のもので、縦と横の割れ目をなす、それぞれ柱状および板状の節理があらわれている。花崗岩の節理は、岩質の方向性が弱いため、おおまかで、これが侵食を受けると岩塊を積み重ねたような形をつくることが多い。なめらかでおだやかな花崗岩の質感をねらってみた。

(盛谷 智之)

発行 株式会社 実業公報社